



第80号/2023年4月21日

おおさきかみじま  
**議会**だより

## 令和5年3月定例会

わが町の予算主なやり取り	2
決まった主なこと	4
7議員が一般質問	5
委員会報告	14
あれから・編集後記	16

# 主なやりと

令和5年第1回定例会を3月2日、28日の会期で開催した。町長施政方針に始まり7人の議員の一般質問、新年度予算等34件の議案、発議2件を審議しすべての案件を可決した。

**問** 今年度の財政調整基金からの繰入れ、6億6,391万9,000円はかなり大きい。将来的な計画を伺う。

(閑田議員)

**答** 例年に比べると多額となっている。

本年度の一般財源を必要とする事業について、これが一般財源というものがほばない。

人件費の増や電気代等の増により全般的に上がっていることを踏まえると、次年度以降も今年度まではいかないまでもある程度の取崩しは出てくると考えている。財政調整基金はある程度必要なため、一般財源の確保、また歳出の削減はもちろん、財政推計等を行い健全な財政運営を図る。

(総務課長)

**問** 新規就農者育成交付金事業は兼業の方が対象にならない、兼業の方がもっと精力的に取り組めるような、または兼業という形で始めながら専業へ移行していただける取組、予算も必要ではないかなと思うが、いかがか。

(閑田議員)

**答** 新規就農者育成交付金事業は、兼業で交付できない。

兼業農家に対応しているのは、大崎上島町UIターン者就業支援事業で支援しているが、年数が2年と短い。兼業農家でやりたいという要望もある、検討し報告する。

(地域経営課長)

**問** たばこ税4,000万円、円弱の収入を見込んでいるが、税金で賄っている役場とかフェリー乗り場等、公の建物で管理されている場所について、灰皿をぼつんと置いておくだけではなく、たばこを吸う人・吸わない人両方に配慮し、分離できないか。

(水橋議員)

**答** 喫煙場所は設けてあるが、不十分だと思っている。また、喫煙場所の構造等については、一般財源を必要とする事業で、その事業の優先性なども鑑み産業医と相談しながら進める。

(副町長・総務課長)

**問** オンデマンド交通サービスの実証実験事業について、昨年11月17日から12月16日まで約1か月間のデマンド型おと姫バスの実証実験があったが、来年度の実証実験事業も、昨年行われたものと同様の形で行われるのか、事業説明を求む。

(森議員)

**答** 実証実験をデマンドで行った、バスの実証実験は、引き続き令和5年度4月から取組を開始し、予定では来年度の1月から3月の3か月を実証実験の期間として計画はしている、今後の交通体系の再編等も含めて、早期に取組を開始する考え。

(企画課長)

# わが町の予算

**問** コロナ禍で体験型修学旅行の事業が行われなかった時期が長いため、今受入れ家庭を再度調査し募集していると思うが、来年度誘致する学校、必要家庭数は集められているのか。

**答** コロナ前の修学旅行の事業と、アフターコロナも見据えた事業のやり方について、何か変わる点があるか。例えば人数を縮小する、規模を縮小する、日程を変えるとかが、今までと変える点があるのか伺う。

(森議員)

**答** 今、情報更新の受入れ調査をしている。ただ、その受入れ調査の回答がなかなか返ってこない等、苦慮している点もあるが、今後受け入れる家庭を増やしていきたいと考えている。

体制の変更は、1校120名までの学校を受け入れるように変更している。また、1週間に2校までとし連続する場合は、1日以上開ける体制の考え。

令和5年度は春が6校で秋が4校のイメージで、計

10校の受入れが決定している。

(地域経営課長)

**問** 海上交通運航欠損額補助9,524万7,000円とあるが、昨年度よりどれくらいアップしたか。補助を出している航路の内訳金額を伺う。

(森若議員)

**答** 海上交通運航欠損額補助で、予算上は高速船、竹原―大長航路に5,308万2,768円、安芸津―大西航路に1,711万3,000円、大三島ブルーライン運航欠損額補助で2,505万1,000円の合計9,524万7,000円を来年度の予算に計上している。

昨年度の予算と比べて、1,300万円ほど増額になっている。

(企画課長)

**問** 町道の舗装の関係で、2,600万円、沖浦本郷線の舗装改良工事を予定しているのが、大崎側はいつ終わるか、沖浦側もかなり路面が傷んでいる、道路交

通上支障をきたしている。早急に実施してもらいたいと思うが、沖浦側の計画は何年度までに実施できるか。

(浜田議員)

**答** 大崎側は令和5年度で終わる予定、沖浦側について予算の確保ができれば、令和6年度から令和8年度までを予定している。

(建設課長)

**問** 今年度の防犯対策費だが、防犯活動推進費に18万8,000円と前年度より増えている。

全国的に凶悪な犯罪も増えているし、それに対応する経費が計上されたのか、内容を伺う。

(尾尻議員)

**答** 防犯活動推進費の中身は、町内の交差点などに設置している防犯カメラのリース料が約130万円。そのほかについては、防犯組合の連合会の補助金が50万円。主なもので増えたところは防犯カメラの電気代等が増えている。

(総務課長)



## 決まった主なこと

# 第1回定例会(3月議会)

### 施政方針

#### 議案

- ・ 令和4年度大崎上島町一般会計補正予算 他9の補正予算
- ・ 大崎上島町課設置条例の一部を改正する条例について
- ・ 大崎上島町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
- ・ 大崎上島町消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例について
- ・ 大崎上島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
- ・ 大崎上島町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について
- ・ 大崎上島町国民健康保険条例の一部を改正する条例について
- ・ 大崎上島町火入れに関する条例及び大崎上島町下水道事業排水設備改造資金利子補給に関する条例の一部を改正する条例
- ・ 大崎上島町水道事業の設置等に関する条例を廃止する条例について
- ・ 大崎上島町における部落差別をはじめあらゆる差別をなくすことをめざす条例の一部を改正する条例について
- ・ 令和5年度大崎上島町一般会計予算 他10件の当初予算
- ・ 損害賠償の額の決定について
- ・ 大崎上島町過疎地域持続的発展計画の一部を変更することについて
- ・ 工事請負契約の変更について 他1件

#### 発議

- ・ 大崎上島町議会委員会条例の一部を改正する条例について
- ・ 大崎上島町議会の個人情報の保護に関する条例について

# 一般質問

## 町政を問う

7人の議員が14項目を質問



みずはし なおゆき  
水橋 直行 議員

### 質問（水橋議員）

大長・明石間のフェリー航路問題は報道にもあったように一旦区切りが付き、航路継続となった。

今回のような問題が今後起こらないとも限らない。少子・高齢化が進んで、人口も減っていく中で、今後全ての航路が存続できる保証はどこにもない。

議会でも特別委員会を設置し議論しているところだが、単町のみで考えるのではなく近隣市町を巻き込み今後の継続維持をできるような海上交通、陸上交通をうまく具合に融合させる取組は、どのように考えているのか。

### 答弁（企画課長）

大崎上島町地域公共交通

### 問

今後の公共交通は  
どう考えているか

### 答

効率良い円滑な公共交通  
の各種取組を進める

計画の中で、高齢者等の町民の暮らしを支える公共交通体系の実現、公共交通サービスが途絶えることのない事業環境の実現、将来に向けて町内で安心して暮らせる移動環境の実現の3つの基本方針を掲げて、公共交通の取組支援を進めている。

町内の主な公共交通は、フェリー航路は5航路、高速船航路は1航路が運航している。陸上交通は路線バス及びおと姫バスの2路線が運行している。航路の1航路を除き、全てが赤字運営の状況。

今回、大長・明石間のフェリー航路問題については廃路申請の取下げをしたが、今後過疎化が進んでいく中で、運行経費の増大や

利用者の急激な減少等、十分想定できる問題であると認識をしている。

町民の利便性、また持続可能な公共交通の維持を最も重要な位置づけとし、実証実験等を経て、島内交通のデマンド化の実装を早急に検討し、公共交通の再編、海上、陸上交通の在り方を、住民のニーズ、また交通事業者との意見交換を緊密に行いながら、効率よい円滑な公共交通の各種取組を進めていく。

また呉市とは、今回の廃路問題を契機として、中国運輸局、県を含めて行政連絡会を立ち上げており、継続した情報交換を行い、今後フェリー、高速船の運航について協議を進めていく。

### （水橋議員）

フェリー問題で、我が町の町民だけではなく、呉市民も不安な状況で、どうにかしてほしいという声も上がった。

議会も、国・県に要望活動等をし、町とも密な連携を取り進めたところ、呉市、しまなみ海運との協議も含めて解決に至ったが、不安な思いが払拭できていないのが現状で、町民の不安を払拭できるように、今後も他市町とも連携しながらしっかりと交通網を築いていくことを願います。





はま だ こうそく  
浜田 幸造 議員

**問**  
県道大崎上島循環線(岩白地区)の道路整備計画は

**答**  
県に引き続き要望していく

**質問 (浜田議員)**  
岩白地区を通っている循環線は、狹隘で車が安全で安心して離合できない危険で不便な道路となっている。

島内を循環する道路で、重要なライフラインでもあり、地区の発展のためにも緊急な道路整備が必要だ。島内には未整備な県道が数カ所あるが岩白地区の道路整備計画の現状は。

**答弁 (建設課長)**

現在、県道改良事業では、大崎上島循環線の天満地区、明石地区、大串地区、大田地区、矢弓地区に着手しており、大田木江線について検討中と聞いている。

岩白地区においては、島内を循環する道路としては

狹隘で、車が離合できない危険な箇所があり、早急な対策が必要と認識している。

現在、県の道路整備計画に位置付けられていないことから、早急な整備計画は困難と聞いている。

町としては、次期整備計画に載るよう、県に引き続き要望していく。

**(浜田議員)**

現在、県の道路整備計画に位置付けられていないことから、早急な道路整備は困難とのことだが、地域の発展・災害時等緊急時に重要なライフラインである道路整備は必要不可欠である。県の次期道路整備計画に載り一日でも早く事業

着手できるように、引き続き県に強く要望してほしい。



**問**

木江運動公園の管理を

**答**  
運動公園の環境改善に努める

**質問 (浜田議員)**

運動公園の管理はどのような方法で行われているか。現在、木が大きく生え茂り、公園内道路を含め安心して利用できる状況ではなく、また公園内の見通しが悪くなっており、防犯上よくない。

木の剪定・トイレの清掃等を定期的に行い、安心して利用できる施設に

なるようにしてほしい。

**答弁 (教育課長)**

木江運動公園は、平成15年の三町合併以降、名称を大崎上島町民運動公園としている。

この運動公園は、現在、教育委員会とホテル清風館とで指定管理契約を締結し、管理を行っている。

昭和57年度に旧木江町で建設し、40年以上経過しており、最近では公園内の樹木が生い茂り、景観も悪く支障を来していると認識している。

今後の改善策として、トイレについては、汚れの有無をチェックする回数を増やすことにより衛生環境の保持に努め、樹木については剪定作業を計画的に実施し、剪定ガラ・落葉の処分は園内に放置することが無いよう、ホテル清風館と町で連携を図り、運動公園の環境改善に努めていく。

**再質問 (浜田議員)**

全天候型テニスコートが

二面設置されているが、苔が生え落葉が溜まり、利用できる状況ではない。建設時にはアスレチック遊具を設置していたが現在、一つも残っていない。遊具を設置できないか。

**再答弁 (教育課長)**

テニスコート及び遊歩道の運用については、継続していくのか改善していくのか、予算が伴うことなので優先順位をつけるなどし検討していく。

遊具の設置については、現在、置く予定はない。





進藤 雅通 議員  
しんどう まさみち

**問**  
高齢者福祉計画・第8期介護保険事業  
計画の課題への取り組みと結果は

**答**  
不安軽減に努め、機能の充実を図る

合事業の推進。  
課題3・高齢者自身や高齢者を支援する安心の地域づくり。

この課題をどのような形で取り組み、成果や結果があるのか。また次年度は、どのように計画を立てて取り組んでいくのか伺う。

**答弁（福祉課長）**

課題1については、介護や支援が必要な状態でも安心して生活できるように、介護する家族も地域全体で支える地域包括ケアシステムの構築に向け、保健福祉の環境整備を進める。また、地域包括支援センターが担う役割は重要で、総合相談支援業務・権利擁護業務・ケアマネジメント業務・介護予防支援業務等を行い、住民が抱える悩み、不安の軽減に努めるため、今以上

による個別相談者は増加傾向。早期発見・早期対応として専門医での個別相談会、認知症への理解及び正しい対応の普及啓発で、認知症サポーター養成講座のフォローアップ講座や講演会等では、予定参加人数を上回る状況で認知症に関心が高く今後も啓発に努めていく。

介護予防・日常生活支援総合事業の推進では、介護事業所において通所型・訪問型サービスの実施、また町の保健師と専門職による通所型サービスのリハビリ活動を実施し、町民の自立支援に向けた取組を行っている。

介護保険サービスのみで対応できないところは、生活支援福祉サービスの推進として配食サービス・外出支援サービス・電動シニアカー購入費助成事業等を実施している。

課題3については民生委員・児童委員・高齢者巡回相談員による独居高齢者等の見回りや高齢者自身による社会参加活動を支援する

介護支援ボランティア活動事業を実施している。  
また、生活支援コーディネーターや支え合う地域づくり協議会等の活動もあるが、コロナ禍で活動制限があるが、制限が緩和されれば早期に従前の体制となるよう取組を支援していく。

令和5年度においても、各施策の進捗状況については定期的な状況把握と点検を実施し、介護保険計画に沿って適切かつ確実に実施できるよう取り組んでいく。

**（進藤議員）**

課題3だが、独居高齢者や老老介護の方等は、不安を抱えている方も多い。この先どうなるのか、もし1人で亡くなったとき誰が見つけてくれるのか、誰にどうやって相談したら良いのかという不安の中で生活をされている方々への配慮や支援も願います。



うえあおき いたる 議員  
上青木 至

問

苦慮する高齢者農業をどう考えていくか

答

農業団体による地域の協力体制づくりを行う

問

空き家対策の  
取組みは

答

地区との連携を  
密にし計画する

質問（上青木議員）

高齢者を取り巻く現状をどう考えていくのか。先祖より受け継いだ農地を子・孫へと残してやる事ができない。こうした中、島内の事業者の中でなんとか我々にやれる事はなにか立ち上がってくれた業者さん。何をするかという作業現場が近くにあれば合間を見て水路が潰れておれば水路の復旧、またげしが崩れておれば回復・復旧、この仕事を業者の方が取組んでいる。こういった箇所は島全体にあると思われる。町として取り組むことはできないか伺う。

答弁（地域経営課長）

農業従事者の減少や高齢化による労働者不足が進んでおり、70歳以上の高齢者が7割と深刻な状況にある後継者不足もあり、高齢の就農者が全ての農作業を行い、収穫時期や有害鳥獣対策においても苦慮していることは町としても認識している。労働力が軽減できるような施策を検討する必要があると考えている。現在のところ、地元業者への業務委託等は考えていないが、今後中間管理機構を利用した農地の幹旋や農業団体による地域の協力体制づくり等に関係機関と協議していく。

再質問（上青木議員）

課長より非常に前向きな

答弁、農業従事者は大変喜ぶと思うが、早急に取り組むことは可能か伺う。

再答弁（地域経営課長）

現在のところ労働者不足ということに対して、県と関係機関とは協議しているので、今後回答できると思う。

再質問（上青木議員）

Iターン・Uターンの方にも声かけをして、地元住民と行政が一体となり事を進めることは可能か伺う。

再答弁（地域経営課長）

移住者やI・Uターンに對しても紹介等も行っており、地元の行事または地元との関連行事に対しても参加できるように町としても努



力していく。

（上青木議員）

ぜひとも連携を取り早期に実現することを要望する。

質問（上青木議員）

長年に渡り質問事案として話になるが結果の出ない事案である。補助金・助成金・奨励金と補助制度はあるが結果良くない。町長が長年言われている明るい、住みよい町づくりを目指すのであれば、見て歩いて、きれいな町だ、空き家管理も行き届いていると言ってもらえる町づくりを真剣に考えるべき。行政だけでは出来にくいことだと思う。地元の住民の皆さんの力を借りて取り組んでいただきたい。年2回程度実施されている各区での草刈り道づくりを上手に取り組み区長・班長さんの協力を得て維持管理をしているが、予算を組み町の事業として取り組むことは可能か伺う。





**答弁（建設課長）**

各地区の実情に合わせた実施が重要であり、関係機関と調整しながら、区長をはじめ地区の方と連携を密にし計画を立て、作業を進めることが出来ればと考えている。

**再質問（上青木議員）**

毎年区長会がある。会合には担当課として足を運び協力要請をお願いしたい。

県道沿いに空き家がある、この事業は何回・何十回と提言しているが、空き家の管理は本来所有者の責任、県道に関しては実質的

には県の所管になる。被害者にとっては町道も県道も関係ない。

**再答弁（建設課長）**

実施は進んでいない現状にある。今後進めていくよう協議する。

**再質問（上青木議員）**

県に言うだけでは駄目で、危ないので町で瓦は撤去する策は練れないか伺う。

**再答弁（建設課長）**

今この場で、町の立場でできる・できないの判断は出来ないが、これからの課題と考えているので対策については町も真剣に取り組む。

**問**

アフターコロナの対応は

**答**

要領に従い提供する

**質問（上青木議員）**

5月に2類から5類へ変更されることによる町の対応を伺いたい。また、検査キット・ワクチン接種についても一部負担があると報道されたことに対して町の対応について簡単でいいの伺いたい。

**答弁（保健衛生課長）**

5月から2類から5類に引き下げられる予定だが、ワクチン接種については全額公費負担で実施する。検査キットについては、本町の新型コロナウイルス感染拡大防止要領に従い従来どおり提供していく。

**（上青木議員）**

国内・県内の状況を見て速やかな対策・対応をお願いする。



スマホやタブレットに無料アプリ「マチイロ」をインストールすることで、いつでもどこでも議会だよりを読むことができます。ぜひ、ご利用ください。  
（※議会だよりは定例会後の発行のため年4回です。）



iOS



android





もりわか いわお  
森若 議員

問

柿の浦住宅建設について、島内業者に委ねるのか

答

島内業者を優先して選定するよう検討する

質問（森若議員）

令和4年9月議会で柿の浦住宅建設が決まった。多分町で行う最後の大きな建物と思う。

島内業者の技術力を高めるために島内業者に委ねるのかの問いに対して島内業者を優先して選定するよう検討とのことであったが、中堅ゼネコンに委ねるとの話が聞こえてきた。

私への答弁はそんなに軽いのかと思っていたら誰かに恫喝されたのか以前のように島内業者へ委ねるとの話が聞こえてきた。建築の場合土木工事と違い裾野が広く島内のいろいろな業者がかかわりをもてると思うからだが残



問

コンサルタント委託業者と指名競争入札落札業者の関係は

答

同一の業者

質問（森若議員）

このたび町道大久保線ルート変更のため㈱○○にコンサルタント委託し道路詳細業務の費用積算を委託し847万円の答申を得て入札にかけ㈱○○大崎上島営業所が770万円で落札し消費税を加えると答申金額847万円になるがこの2つの会社に関係があるのか。

答弁（副町長）

同一の業者です。

再質問（森若議員）

コンサルタントに委託す

問

花條地区急傾斜地崩壊対策事業について、現地測量の立入り案内の国土地理院の地図はいつのものか

答

この地図の作成時期は不明

質問（森若議員）

この事業については単県から県営に変わったことについて不信感を持ったので令和4年12月議会が始まる前に西部建設事務所に行き単県から県営に変わった理由を伺うと要望書が出て来たので精査して定められた条件をクリアすれば工事に着手の事。要望書出したのか。

答弁（建設課長）

要望書は出した。

再質問（森若議員）

要望書まで出しつつも分からない地図を基に調査測量するという事は最初から工事ありきで調査測





量を行ったのか。

**再答弁（建設課長）**

この事業は県または国で判断されるものと思っ

**問**

矢弓の棧橋の取り扱いについて、棧橋は撤去するのか

**答**

撤去する

**質問（森若議員）**

矢弓の棧橋が撤去されるとの声が耳に入ってきた。この棧橋は東野住吉祭りにとっては必要なものと思っ

**答弁（建設課長）**

たらこれこそ要望書を出して大事な祭りに必要なものですと県に要望する必要があると思うが。

矢弓の棧橋の施設は作っ

**質問（森若議員）**

東野伝統文化保存委員会・権伝馬実行委員会にげ



もり 森 ルイ 議員

**質問（森議員）**

子育て支援について伺う。

①令和5年1月からICTを活用した新たな子育て支援策として導入された母子手帳アプリ「母子モ」の現状と町からの情報提供内容、今後の課題は。

②一時的保育事業の現状と無償化の検討、大崎上島幼稚園に通う子どもが一時的保育の対象外となっているため利用できないが、長期休暇中等の一時預かり保育対応はできないか。

③大崎の放課後子ども教室では昨年は定員オーバーで新4年生が通えない状況であったが、改善されたのか。また、町内3小学校で受け

**問**

大崎上島幼稚園の長期休暇等における一時預かり保育の対応は

**答**

令和5年度の夏休みから大崎上島幼稚園で実施できるよう制度を構築する

入れ可能な学年が異なる現状は改善すべきと考えるが、どうか。

**答弁（保健衛生課長）**

①3月7日時点で39名の方が登録されている。町からの情報提供は母子保健事業に関して町のホームページともリンクする予定だが、まだ間に合っておらず、今は県のホームページとのリンクとなっている。対象者の26%しか登録されていないため、今後は登録者数を増やしていく。

**答弁（福祉課長）**

②本町の一時的保育事業の対象児童は、保育所、幼稚園及び認定こども園等に通っていない小学校就学前

の乳幼児であって、保護者の労働、傷病等により、一時的あるいは断続的に家庭保育が困難となる乳幼児が対象で、令和3年度の実績は、3歳未満が65名219日、3歳以上が11名30日の利用となっている。無償化についても検討をしていく。

**答弁（教育課長）**

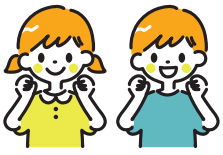
②夏休みなど長期休暇の際に保育を希望する保護者のニーズが大崎上島幼稚園にも寄せられている。令和5年の夏休みから大崎上島幼稚園に在園する園児を対象に一時預かり保育を実施できるよう制度を構築する。

③本年も大崎教室には昨年度を上回る41名の入会申込みがあり、協議の結果、昨年同様30名を上回った部分、3年生以上の児童を入会保留とする措置とした

が、「放課後子ども教室の拡充を求める保護者の会」から町長と教育長に「放課後子ども教室の拡充を求める要望書」が提出された。教育委員会ではこの要望を重く受け止め、新3年生も受け入れることとした。今後はスタッフの確保と教室の拡充の問題をクリアして、改善していく。

**答弁（町長）**

③家庭の様々な事情で子供を見てほしいという要望には、基本的には応えるべきであると思っている。町内で3年生までしか受けられない地域とそうでない地域があるというの大きな問題であるという認識があるので、早急に改善をすべきであると思う。任期は残り僅かだが、教育委員会としっかりと協議をしたい。



**問**

地域猫活動について町の考えは

**答**

広島県と連携を図り、事業のバックアップ、サポートをできる範囲で行う。

**質問（森議員）**

地域猫活動について伺う。

①野良猫の不妊去勢手術やトイレの設置により、野良猫によるトラブルを減らし、周辺環境を改善していく活動である地域猫活動について、町の考えは。

**答弁（保健衛生課長）**

①地域猫活動は広島県が実施主体であり、本町は広島県と連携を図り、事業のバックアップやサポートをできる範囲で行う。

②3月7日時点で登録が85頭、そのうち手術済みが56頭。

③県の愛護センターと調整して、区長会で説明する予定。

④広報誌やチラシなどによる地域猫活動に関する広報啓発活動や、野良猫を遺棄・虐待・殺傷した場合の罰則が厳しくなったことの周知は。

④広報紙に「始めてみませんか？地域猫活動」といったようなタイトルで掲載する予定で、遺棄や虐待、殺傷の罰則規定が変わったことも併せて掲載し、周知していく。



不妊・去勢手術済の地域猫は耳をV字にカットします



かん だ だいすけ  
閑田 大祐 議員

質問 (閑田議員)

工事着工以来15年以上経過している下名川の完成時期はいつ頃の予定か。

答弁 (建設課長)

令和5年度に県道から下流部分が完成する予定で、残る上流側70mも継続して実施する予定。引き続き早期完成が図れるよう、県と連携していく。

再質問 (閑田議員)

上流側の沿線住民は15年以上の長い間、道路は未舗装のまま非常に不便をおかけしている。県工事と切り離し、町道の舗装を町で完成させることは出来ない

問  
下名川の早期完成を

答  
しっかり県に要望する

のか。

再答弁 (建設課長)

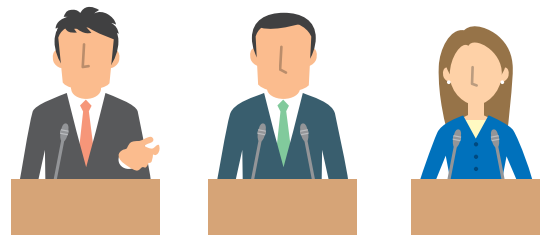
計画では4m道路のうち2mは河川の管理道、残る2mが町道となっている。基本的に県が実施している工事なので町が直接実施することは出来ない。地域の実情を伝えることを主眼に、しっかり要望していく。提案についてもそのような形が可能か協議していく。



議会傍聴をしてみませんか。

次回の定例会は6月です

日程は町内放送・ホームページでお知らせします。



お知らせ

○本庁・各支所ロビーのテレビまたはインターネットで議会生中継がご覧いただけます。

※インターネットをご利用の場合はホームページの注目記事「○○議会ただいま生放送中」をクリックしていただければご覧いただけます。

# 総務福祉文教常任委員会報告

委員長：閑田大祐 副委員長：渡辺年範  
委員：進藤雅通 水橋直行 森 ルイ

令和4年12月の大崎上島町議会定例会以降に開催した、委員会での主要な調査協議事項及び、継続審議した内容と事業内容の審議について報告します。

## ○マイナンバーカード

本年度当初、交付率は40%未満でしたが、1月末現在で県内1位の77・9%となっております。地域振興券の付与・出張受付・休日窓口・ワクチン接種会場での受付など、様々な取り組みの成果が出たと言えるでしょう。

保険証として利用するためには利用登録が必要ですが、マイナンバーカードを交付したほとんどの方が登録されています。

## ○印鑑登録証明書

印鑑登録証明書に性別を表記することにしていましたが、性別の表記を廃止して差し支えないという通知があったため廃止することになりました。

## ○ホテル誘致事業

国際的ホテル事業者が日本全国で温泉旅館事業を展開する話があり、本町はその誘致に乗り出しました。

さまざまな検討がされていますが、ホテル清風館が使用する「きのえ温泉」は、取水量が1時間あたり10トンで、これを重ねて利用することは困難という説明でした。

## ○国民健康保険税率

令和6年度の県内統一保険料に向けた協議の中で、期限を延長し、基金等自主財源を投入した独自保険料を、との話もありますが、今は結論は出ていません。

## ○特定検診

コロナ禍で受診者の人数を120人としており、令和元年度までの数字よりは検診率が下がっています。

## ○検査キット

5月から新型コロナウイルスが2類から5類となりますが、担当課でこれまでに購入した抗原検査キットが余り、使用期限が過ぎた場合には信頼度はなくなりますが、それでも使いたいという人がいれば廃棄せずに提供も可能とのことでした。

## ○子育て支援

子育て世帯支援給付金事業で対象児童は令和5年4月1日生まれまでとなっているのに申請は令和5年3月31日までとなっていました。4月1日生まれのお子さんは特に申請を必要としない条項です。

子育て支援策は国の事業だけでなく、町として必要な施策を考えるよう要望しました。

## ○防災備蓄倉庫

防災備蓄倉庫に保管している飲料水や食料品等、期限があるものについては随時更新していて、期限があ

るものは期限が過ぎる前に町が各所へ配布しているのですが、全てを配布することが出来ておらず、処分が問題となっています。期限が過ぎた飲料水については、飲み水には使いませんが、生活用水として活用できるので確保しています。

## ○たばこ税

今年度のたばこ税による税収は昨年度と同様の見込みです。

## ○外出支援

同居されている方が車の運転免許証を持っている場合は一律、外出支援を利用できなかったのですが、外出支援の要綱を改正して、同居している家族が車を運転できても外出支援の制度を使えるようになりました。島内では運転ができて、島外では運転できないという方については、ケアマネージャーから相談があったりして外出支援を利用できるよ

# 産業建設常任委員会報告

委員長：森若 巖 副委員長：上青木至  
委員：浜田幸造 信谷俊樹 尾尻康二

令和4年12月定例会以降の委員会報告を行います。各課から令和5年3月定例会で議案となる主な条例案、補正予算案、繰越事業の進捗状況などの説明を受けて審議をしました。

○農業集落排水は公共下水道とつなげるのか  
公共下水道へ統合するよう進めています。

○漁業集落排水も公共下水道につなげるのか  
計画では統合するようになっていますが再検討が必要と思っています。



○町道七々見金番所線廃止の理由は  
キャンプ場を整備して観光客数を増やしていくとき



の安全面を考えての事です。

○明石く小長間のフェリーのその後の動きは  
5月末で廃航が決定する

場合での代替船のリミットは3月上旬ですが、しまなみ海運が条件面で妥結に至れば取り下げる意向を示しています。

○島内の空き家の数を調査することを考えているか  
空き家の調査は県から情報提供を受け検討します。

○民泊の受け入れ家庭数は  
今実際には40件弱の登録をもらっていますので120名の受け入れは可能と思っておりますが、受け入れ家庭登録を増やすことをお願いするつもりです。

○農道の維持管理は  
そもそも農道は受益者によって維持管理するべきものであるが、農業従事者の高齢化・廃業等によって維持管理が大きな問題となっています。



## 自治功労者表彰

全国町村議会議長会表彰  
○議会議員27年以上  
信谷俊樹議員



# 追跡 あれからどうなった

(令和3年9月定例会一般質問から)

## 質問

広田排水機場の改善は

## 回答

近年のゲリラ的豪雨には、現在のポンプの排水能力では追いついていない。これまでとは違い、今後も豪雨が予想されることから、現状を調査し、広田排水機場を中心とした排水ハード対策により浸水被害を低減する必要があると考えている。

## その後の経過

広田排水機場は、令和4年度に、非常用ポンプの配備と流域全体の調査及び浸水対策について検討しました。

令和5年度から、広田排水機場の浸水対策計画に基づきハード対策に着手する予定です。



## 編集後記



心配していた明石航路は無事に継続が決まり安心したところですが、人口減少、少子高齢化が進んでいる現在、安心ばかりはしていません。

今後、同じような話が出てこないとは言えません。この先も海路・陸路をベストマッチし安心して便利に公共交通が利用できるよう協議・提案していき生活しやすい町づくりを目指します。

今年も統一地方選で大崎上島町は町長選挙の年です。高田町長はご勇退を表明されており、三期十二年大変お疲れさまです。また、ありがとうございます。ありがとうございました。

大変な職責でなかなかできることはありません。これからはサポーターとして町づくりにご協力ください。

この議会広報が発刊される日は町長選挙真っただ中、皆さん投票に行き、新しい町のリーダーを選びましょう。

町議会も新たな町づくりへ舵を切るリーダーと、意見をぶつけ合いながらしっかりと協力し、町のこれからについて真剣に考え進んでいきます。

(N・M)

## 大崎上島町議会

TEL(0846) 65-3130(直通)

FAX(0846) 65-3117

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

URL:<http://www.town.osakikamijima.hiroshima.jp/>

### 議会広報委員

委員長 水橋直行  
副委員長 浜田幸造  
委員 森若 巖

進藤雅通  
森 ルイ  
上青木至